

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		スマートIC事業実施検討事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	総務企画部	課長名 濱田善也
	施策	5	道路ネットワークの充実		所属課	企画財政課	担当者名 後藤 章博
	基本事業	13	計画的な道路の整備		所属班	政策企画班	(内線) 1245
予算科目		会計 1	款 2	項 1	目 9	事業連番 10086	<input checked="" type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (18 ~ 20 年度)		成果優先度評価結果	-
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		【事業の内容】 合志市新市建設計画の中で、合志町と西合志町の一体性の確保を図り、新市の将来像実現のため、国、県等と連携を図り、積極的に推進していくとされた重点施策(構想)5項目の中の1つである地域間交流・広域交流の拠点整備のための北熊本SAにスマートICを建設する構想の検討を行う。 【業務の流れ】 北熊本SAスマートIC建設構想の検討を熊本県、熊本市、合志市、植木町で協議・検討を行う。 1. 内容検討会議 2. 調査分析 3. 分析結果の検討 【主な予算費目】負担金					

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) スマートIC整備計画案の検討を行い、併せて関係機関を含めた勉強会を開催し、整備に向けた計画案の課題整理などを行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) スマートインターチェンジ整備事業へ移行する。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 首長(熊本県、熊本市、合志市、植木町)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 会議開催件数 件 イ 調査分析件数 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) スマートIC設置についての可否の判断ができる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 首長数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 計画的な土地利用に合った道路網が整備される。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 妥当であると判断できた首長数 人 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 整備延長/計画延長 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

事業費	投入量	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画			
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	18	20		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト	3,360		
		都道府県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円	3,360									
		繰入金	千円										
		一般財源	千円	3,372	0	5,000	2,205						
	(A) 事業費計	千円	6,732	0	5,000	2,205	0	0	5,577			8,937	
	人件費	うち指定経費	千円										
		うち時間外、特殊勤務手当	千円										
		正規職員従事人数	人	4	5	4	4						13
延べ業務時間		時間	632	802	500	460				1,894			
(B)人件費計	千円	2,509	3,192	1,990	1,831	0	0	0	7,538				
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,241	3,192	6,990	4,036	0	0	0	16,475				
活動指標	ア 件 イ 件		10 1	3 0	10 1	12 1				目 標 合 計 値 画	22 年度		
対象指標	ア 人 イ 人		4 4	4 4	4 4								
成果指標	ア 人 イ 人		0 0	0 0	4 4								
上位成果指標	ア % イ %		15 23	45 28.9	70 100								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
合併により、合志市新市建設計画の重要施策の1つとして位置付け、地域間交流や広域交流を図るための設置検討を開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成21年2月の制度改正により、これまでのサービスエリアやパーキングエリアでの整備に加え、本線直結型の整備が可能となった。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
県議会関係者などからは整備に向けた要望が寄せられている。

事務事業名	スマートIC事業実施検討事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 計画的な土地利用に合った道路網が整備されることにより、設置についての判断が明確になる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 重要施策の1つであり、計画的に推進していくため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図ともに現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 成果が満たされたので、事業完了となった。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 成果が満たされたので、事業完了となった。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 成果が満たされたので、事業完了となった。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 成果が満たされたので、事業完了となった。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 成果が満たされたので、事業完了となった。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 政策判断の業務であるので公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) スマートIC整備事業へ移行する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策				
-----------------------------------	--	--	--	--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)